

令和4年度 講座等企画団体助成事業

事業報告書

(ホームページ公開用)

講座名	CAP おとなワークショップ「子どもの SOS をどう受け止めるか ～子どもを暴力の被害者にも加害者にも傍観者にもしないために おとなにできること～」
日時	令和5年1月22日(日) 10:00 ~ 12:00
目的	子どもの SOS にいち早く気づくための視点と、気づいた時の適切な関わり方を学び、子どもの SOS をしっかりと受け止めるスキルを習得し、子どもが孤立に追い込まれないよう、子どもをサポートできるおとなを地域に一人でも多く増やすことを目的に開催。
対象	県民一般、テーマに関心のある人
講師	矢島宏美さん(一般社団法人 J-CAP T A トレーニングディレクター NPO 法人 子ども・人権・エンパワメント CAP ながの 理事長、長野県教育委員)
会場	沖縄県男女共同参画センターていりる 2階会議室 1・2・3
定員	50名 (申込者数 : 57名)
参加者数	48名
講演内容(概要)	<p>内容: CAP とは、暴力とは、子どもがなぜ暴力を受けやすいのかを考え対処する、CAP 小学生向けプログラム体験、CAP の3つの柱(人権意識、エンパワメント、コミュニティ)、おとなができること(子どもの話を聴く、他)</p> <p>上記の内容をペアワーク、グループワークを交えながら進行。子どもが暴力の被害にあった時の気持ちを考え、子どもの気持ちに寄り添った支援の仕方を学んだ。講師の講義を聞くだけでなく、参加者同士が話し合い、参加することで、自分事として捉え、今日から自分にできることを具体的に考えることができた。</p>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none">・現代の子どもたちが発するたくさんの SOS のサイン、私たち大人はあまりにも軽視し、見過ごしてきたことが今の現状につながっている。まずは子どもの話を聴く、意見を言っていることを伝える。大人自身の心の余裕が必要だと強く思いました。・言葉にできないほど、今日の講座はとても感動しました。支援の現場だけでなく、地域の大人としても、子どもを見守る、育てる大人でありたいと思いました。・子ども一人ひとりとても大切に愛されている存在だと大人の一人として伝えていきたいと思いました。・子どもの小さな変化に気づいたり、それを周りともしっかりと共有すること。自分自身の子どもへの関わりを深めることができました。今後も CAP のことを学んで、子どもの SOS に気づいて力になれるようにします。・職場でも、家庭、身近なところですぐに実践できそうだった。具体的な言葉、行動、ワーク、よかった。・子どもを支える「大人」の役割を改めて実感しました。社会を創っていく責任を今さらながら実感。発する言葉に慎重で誠実でありたいと思いました。 <p>(一部抜粋)</p>

写真



共催 (公財) おきなわ女性財団